

令和3年度 第2回大和市文化創造拠点等運営審議会(書面開催) 会議要旨

1 開催日 令和3年8月23日(月)～令和3年8月31日(火)

2 場 所 書面開催

3 出席者 委 員 7 名

4 傍聴人数 なし

5 議題 (1) 前回の書面会議にて提出された意見に対する考え方

(2) 令和2年度指定管理者の評価について

6 議題に対する意見等

(1) 前回の書面会議にて提出された意見に対する考え方

<委 員>

○項番8において、ウィズコロナにおいてどのようなサービスを展開するのか、「基本的な方針」についてお伺いしたが、回答が各論にとどまっているので残念である。

<委 員>

○コロナ禍という未曾有の状況の中で、計画されていた事業の中止・延期が余儀なくされたことは紛れもない事実である。そして、評価の指標(目標値)の多くは数字によるものであり、この状況下での評価指標としてはなじまないものもあるのではないかと考える。一方でこの状況下ならではの事業の見直しや運営・管理方法の新たなアイデアも現出し、実行されているものもあり、今後、コロナ禍のような困難な状況に遭遇した場合の事業継続に資すると思われるものもある。よって評価側にはとても難しいが、そのあたりも勘案した評価とするべきと考えている。「全てをコロナ禍の理由にするな」との意見もあることは想像できるが、事務局コメントの「総合的に捉え評価する」は妥当と考える。

なお、今回提出された種々のアイデアについては今後もブラッシュアップをして蓄積し将来に備えて頂きたい。

<委員>

○コロナ禍における感染拡大防止対策は現在重要であるが、アフターコロナを見据えた事業計画も必要であると考ええる。

<会長>

○報告書の記載事項は今回の事態に対して意見はありませんでした。他方、工夫や努力について、何を、いつ、どのように実施したのかについては、特にその根拠について記述が乏しく、事業報告書のレベルが落ちてしまった。何を書くべきかのディレクション、理念、そして時間も欠けていたのではないかと考える。

○【項番4,5に対して】考え方・方針において具体的に回答をいただいたが、これらの内容を本来、事業報告書へ記載すべきである。

○【項番6に対して】泉佐野市の図書館のコンセプトなど参考になると思う。アフターコロナにおける、施設の在り方や役割についての文献も出てきているのでそうした取組みに期待する。

(2) 令和2年度指定管理者の評価について

文化創造拠点シリウス

<委員>

○研修について課題が残るものの、新型コロナウイルス感染症対策を行いながらも、適切にサービスを提供し、運営管理されたことなどを高く評価された評価内容は妥当だと考える。

1. 運営組織に関すること

<委員>

○職員の育成に関しては、重要な研修（コンプライアンス研修）が実施されていないので、B評価のままでよいのではないかと考える。書面での研修が可能だったのではないかと考える。

<委員>

○集合形式での研修におけるメリットを、今後どのように担保していくのかが課題であると考え、とどまらない姿勢について評価したい。

<委員>

○今回のコロナ感染拡大防止対策については、施設における感染者を出すことなく運営できたことは、評価できる。今後のためにも、これらの対応の記録と検証を求める。

<会 長>

○新型コロナウイルス感染症のため、セルフモニタリングの手法が適切であったか、対応した手法の変更がなされたのか分からなかった。

○研修実施回数が未達でも、代替に努力した点は評価できる。

2. 利用者サービスに関すること

(1) やまと芸術文化ホール

<委 員>

○コロナに関してはエアロゾル感染であると言われている中、換気をどのようにして行っていくのか。建物の問題もあるかとは思いますが今後の課題でもある。

(2) 大和市立図書館

<委 員>

○図書館が、学びのパートナーであることを考えると、コロナだから事業の中止というのは避けたい。コロナ禍またはアフターコロナにおいても、zoom 等のウェブライブ等の事業計画により、中止することなく対面に近い実施が可能である。実施方法の一つとして取り組んでいただきたい。

(3) 大和市生涯学習センター

<委 員>

○新しい取り組みについては評価できる。その検証も行ってほしい。

(4) 屋内こども広場

<委 員>

○育児相談事業においては、子育てに不安を感じる親等が増加する中、今後も充実した取り組みの必要性が求められる。期待したい。

(5) 共通事項

<委 員>

○コロナ禍で必要を感じている方が安心して利用することができるよう善処されたことを評価する。

総合評価

<会 長>

○「この感染状況のもとでも、施設の存在意義、市民生活における役割・機能を維持発展させるため」との文言を記載できないか。

中央林間図書館

1. 運営組織に関すること

<委 員>

○職員研修が全スタッフで行われており、研修情報の共有ができていることは、組織の在りようの基本でもあり素晴らしい。

2. 利用者サービスに関すること

<委 員>

○様々な制約が課せられる中で、予約という形を取ることで安心して貸出しを受けられる体制をとる努力は、利用者にとって、利用の有無より、人とつながる時間を得たのではないかと思うと大変評価する。

<委 員>

○アフターコロナにおいても、予約の受け取りサービス等は、ニーズがあると思う。

○動画の配信等については、コロナ禍だけではなく、今後も求められる取組みではないか。配信する内容を工夫して、今後も続けてほしい。

北部文化・スポーツ・子育てセンター

2. 利用者サービスに関すること

<委 員>

○スポーツセンターと連携したイベントの検討を期待したい。

<委 員>

○若い人が比較的多く集まる場所として、清掃消毒をはじめ細やかな対応がなされたことは大変苦勞があったと思うが必要に応えられていることは大いに評価する。

<委員>

○状況に応じて学習室を開放したり、時間を延長したりして、臨機応変に対応し市民のニーズに応え、かつ安全に施設運営が行われたことは大いに評価する。

各地区学習センター及び渋谷図書館

1. 運営組織に関すること

<委員>

○各学習センタースタッフは、シフトにより交代がある中で、スタッフ全員が研修内容について共有しているのか、もし一部のスタッフだけであれば共有が必要である。

2. 利用者サービスに関すること

(1) 各地区（つきみ野、桜丘、渋谷）学習センター

<委員>

○各学習センターで、事業が中止されたり、開かれたりしているが、実施方法は多少違って歩調を合わせて取り組むことを望む。

<委員>

○図書の選定、特に入替えについてさらなる努力を期待したい。

(2) 大和市立渋谷図書館

<委員>

○図書の選定、特に入替えについてさらなる努力を期待したい。

<委員>

○様々な制約が課せられる中で、予約という形を取ることで安心して貸出しを受けられる体制をとる努力は、利用者にとって、利用の有無より、人とつながる時間を得たのではないかと思うと大変評価する。

<委員>

○予約受け取りサービス等の取組については地域性を考えても適切な取組である。今後は、登録者数の増加を期待したい。